ひばり学園閉園についての保護者説明会（第1回）

報告書

日時：1月10日（火）14時より15時20分

場所：ひばり学園　リハビリ室

参加者：荻野一茂理事長、糸井利幸院長、中村雅幸事務部長

　　　　利用者の保護者様15名参加

内容

糸井院長より、別添スライドにて、ひばり学園閉園の理由について説明を行う。その後、保護者様よりの質問等を受ける。

保護者様からの質問

1　プロジェクトチームを立ち上げられるとの事ですが、閉園される令和6年4月までに間に合うのでしょうか？

A　**今年の秋までにメドがついていれば、来年の春には、事業開始が、ベストかもしれないが、お約束はできない状況です。**

２　就学の時までに、閉園から1年がある。就学等の紹介について、具体的に、どの施設に入るとか？サポートはしていただけるのですか？

A　**紹介についてもプロジェクトチームの活動と同時に考えていく。現在のところ、具体的な手続き内容等は決まっていません。サポートはしていくつもりです。**

３　ひばり学園で赤字が続いていたのですか？なぜ、ほっておいたのか？

A　**麦の穂学園からの補填が可能であった。京都市からの補助金でなんとか継続していた。**

**ひばり学園の事業形態上、自由度があまりないので、事業内容の変更という発想がなかったのかな。事業内容については、2年ぐらい前に変更しておけばよかった。反省はしています。**

**利用者の急激な減少、これは、出生数減少の影響や、。NICS入院数特に未熟児の減少も影響かもしれない。保育園での医ケア児対応等での影響について、正確な数字をもみてみないとわからない。**

**また、保育士、看護師の採用も困難になってきている。看護師については、新型コロナウイルス感染症の発生による医療機関での看護師需要が増加したのも一因と考えられる。**

　**コロナ病床を持つ他病院やホテルなどを利用した療養施設等に看護師さんを取られることもある。**

４　保育士が、なぜ不足しているのか？

A　**不明な点もあるが、障害児の保育を目指している人も多くないのではと思う。また、児童発達支援センター等の人員基準を満たすには、説明会資料（別添）にもあるように人員を配置しなければいけない。、医ケア児に対応している施設も増えている。看護師も需要高い。**

５　京都市の補助があれば、事業の内容を変更しても継続できないのか？

Ａ　**まず、補助金のカットは、各施設一律です。保育所も含め、各施設とも厳しい状況ではあると思う。給与カット等もあるかもしれなですね。保育所であれば、寄附を募ることもできる。**

６　母子通園から単独（分離）通園に切り替えは？ボバースとの比較について

Ａ　**皆さんからのご要望、ニーズを伺って検討したい。小規模保育園（案）ある。また、皆さんが魅力的な園とは何なのか？（親子通園、通園回数など）SNS等を介して、皆さんにも考えていただいて、伺ってみたい。**

**外へのアピール度が低かったのかな。新しい事業として、訪問看護、訪問介護等も検討している。赤ちゃんから成人まで。**

７（荻野理事長より）

**ひばり学園は、もともと京都市立で設立され、京都市の補助金は、以前には、１０００万円ぐらいがあったが、７００万、３５０万と減少していった。最近では“０”になっている。麦の穂学園から補助しているが、コロナの発生により、それも難しくなった。**

８　契約者は減っていないようですが？

A　**契約者数は、減っていませんが、利用者数は、急激に減っている。これは、併行通園をされる方が８０％であり、週1回の利用者さんが６０％いらっしゃいます。**

９　ひばり学園は、リハビリ＋療育という点でありがたかった。1日セットで受けられる点です。今後、リハビリの頻度は？

A　**今後、リハビリは、外来で受けていただくことになる。今後の検討として、リハビリを一番の目的とおくのか？リハビリと保育とするのか？考えなければいけない。また、このコミュニュティをどうやって持つかも検討課題です。**

を

１０　主治医、看護師、保育士な多職種の方が、子どもを看てくれている。いろいろな事に気づいてくれる。ありがたいと思う。Ａはなし。

１１　プロジェクトチームについて、保護者の意見は聞いてくれるのか？

A　**今後、理事会、評議員会に諮られ、決定していく予定である。定款の変更が必要。保護者の方にもプロジェクトチームへの参画は難しいとは思うが、SNS等でもご意見がいただけるようであれば、いただきたい。**

１２　児童発達支援センター（重心型）、児童発達支援事業への変更はあるのか？

A　**変更する際も、一旦、児童発達支援センターを閉じないといけない。利用者様の負担増なども発生する。重心型も看護師等の職員も確保しなければいけないので、現状、難しい。**

ひばり学園閉園についての保護者説明会（第２回）

報告書

日時：1月12日（木）14時より15時30分

場所：ひばり学園　リハビリ室

参加者：荻野一茂理事長、糸井利幸院長、中村雅幸事務部長

　　　　利用者の保護者様8名参加

内容

糸井院長より、別添スライドにて、ひばり学園閉園の理由について説明を行う。その後、保護者様よりの質問等を受ける。

保護者様からの質問

１　厳しい状況は理解できた。チーム立ち上げで安心したが、閉園の令和６年３月に間に合うのか？もっと前からチーム発足しなければいけないのではないか？

A　**今までは、法人からの補填でひばり学園の経営は、やっていけた。正直、遅かった。今のやり方を改善する必要があるのか？検討するべきであった。アマイ。反省している。２年、３年前からやっておかないいといけない。でも今からでもチームを発足し、改善をしなければいけない。**

２　利用者が減ってきていた時の運営メンバーとプロジェクトチームメンバーは、異なるのか？

A　**今後、どのような療育ができるか？引く手数多、給与問題等のなか、保育士をどのようにして集めるか？魅力あるひばりを作るのに、内ではわからないこともある。利用者様からも色々なアイデアをいただかないといけない。運営メンバーは、説明会終了後、立ち上げる段階。**

３　なぜ保育士がたらないのに、保育士さんを削減したのか？

A　**その時期は、基準人員数から病棟で保育士の補充が切迫しており、ひばり学園では、人員に余裕があった。よって、退職された保育士さんには、ひばり学園から病棟への異動をお願いした。もちろん、待遇としても非常勤から常勤への変更も行うことを約束したが、個人的な理由でされ離職された。その後、ひばり学園職員で、病気による長期休暇者、退職予定者があり、人員不足になりつつある。**

4　経営について検討

A　**HP作成などアイデアを出していもいただいた。情報の発信、入所の条件、事業所への変更、送迎が可能かどうか？また、人口動態的には少子化に伴い、NICUの未熟児入院も減っている。未熟児以外の重症新生児の発生率には変化がないが、絶対数は減少。全体を見て計画をたてなおさなければいけないと反省している。大学病院等との連携も必要である。**

５　石川県の施設を例に出されて

　　〇通園のスタイルに違いがる。

　〇曜日、通園などスタイル

などの違いを疑問に思う。

A　**定期的な調査はしていなかった。びわこ学園とは情報交換している。自治体が異なると手厚い部分もあるし、事業規模が異なると、内部留保などがある。自治体の福祉に対する入れ込みも異なる。また、人員規模によるが、人件費が低い場合が多い、ICT化されているところも多い。当センターは、アナログなので設備投資に費用がかかる。**

６　寄附等は、募れないのか？

A　**制約があるので難しい。現在の補助等は、耐震工事が主である。一時的寄附で５から10年続けるのは、難しい。**

７　昨年10月に入園し、現在、座位保持をつくっているのに？

　　修道院は、改築されたが？

Ａ　**まず、修道院は、法人としても全く関係がない。時期として12月からの案内を行ったが、秋ごろの募集を止めるのは悩ましかった。乳児から就学児、訪問介護までのセンターのようなシステムを準備はしている。**

８　新しいプロジェクトが間に合わない場合、いつになったら答えがでる？

Ａ　**早くて秋。併行して他施設への紹介、赤字覚悟で4月以降夏まで継続しなければいけないかもしれない。**

９　紹介、斡旋はしてくれるのか？

Ａ　**今はわからない。他の施設も厳しいところもある。**

１０　ヨゼフでの外来・リハをどうなるのか？

Ａ　**リハとして受診していただく。**

１１　保育園になるとどうなるのか？

Ａ　**現在、保育園の形態が良いのか？考えないといけない。保育園も大変である。**

１２　お弁当を持ってきても食事をみてもらいたい。

13仕事が出来ない親は、相談に行っても「保育はあきらめてください」と言われる。

　親の味方になってほしい。

Ａ　**ショートステイは、どうか？**

**ニーズはある。ショートステイの充実・拡張など検討を始めているが、場所の問題と看護師確保について課題がある。**

14私のところは、閉園と同時に卒園となるが、年少はどうするのか？

　〇私は職につく予定なので、保育園を選んだ。

　〇ニーズの発掘が遅い。

　〇秋に動いて来春の4月に保育園に入るのは難しい。7月頃には決まってしまう。

　〇見込みがあまい。

A　**実際、そう思う。併行通園を行っていない利用者は9名だけ。ひばり学園は親子通園に意義を認めこだわっていた。**

15　新しいチーム　保護者に伝えていくことは？

A　**皆さんの情報等が大切である。引き続き意見交換を行っていく。**

16　厳しい状況から、あと1年で新規プロジェクト、大丈夫ですか？ダメで終わっていることが保護者は不安。閉園すると考えた方が良い。

A　**言っていることは、あまい考えだと感じられてあたりまえだと思う。しかしながら、なんとかしていきたい。**

17　療育と保育園とは異なる。両方必要だと思う。ひばりの良いところを残しつつ、何がどうなるか？教えてしい。

18　収入をあげていくには、発達障害も取り入れては？（前記の石川県の施設例）

A　**この施設で行うとなるとエリア分けが大変。職員数も。**

19　残るメンバー（年少さん）に何らかの担保がほしい。早く担保を用意してほしい。

ひばり学園閉園についての保護者説明会（第3回）

報告書

日時：1月13日（金）14時より15時15分

場所：ひばり学園　リハビリ室

参加者：荻野一茂理事長、糸井利幸院長、中村雅幸事務部長

　　　　利用者の保護者様11名参加

内容

糸井院長より、別添スライドにて、ひばり学園閉園の理由について説明を行う。その後、保護者様よりの質問等を受ける。

１　児童発達支援センターが無くなると、どうなるのか？リハビリ、相談課を残していただきたい。ひばりと外の繋がりがある。

A　**センターの役割として、外、地域に向かって行うことがある。児童発達支援事業になるとそこがなくなる。**

**また、障害児相談支援事業については、やめるかどうか？京都市と検討中です。**

２なぜ、福祉型から医療型に変更されなかったのか？

A　**以前は、医療型であったが、サービス報酬を考慮し、福祉型に変更している。**

**現在のところ、職員配置を考慮し、医療型への変更は検討していない。**

３　親子入園について

A　**これまで通り別枠で行っていく。**

４　子どもの事、働く事を比べれば、子どもの事が大切です。保育園も大切です。でも、ひばり学園にこれて良かった。残すようにプロジェクトチームが、いい方向に行けたらいい。

５　週3回来れたら良かった。違うかたちでも存続してほしい。できることがあれば、人材の紹介など協力する。

A　**非常に有難いご意見。保護者の方々の意見を伺いたい。プロジェクトチームを立ち上げているが、コーディネイトも考えていかないといけない。**

６　先輩お母さんとコミュニュケーションがとれて良かった。週3回とはいいながら1回しか来れなかった。バスを出していただくとありがたい。ここにひばり学園があるのを知らなかった。HP等で募集されてはどうか？

A　**小児科医ですら、ここを知らないことがある。そとに向けてのアピールが少なかった。**

７　昔からのスタイルと新しいニーズについての意見

　　〇ＳＮＳの活用

　　〇保育園等の情報

　　〇クラウドファンデングの活用

　　〇広報担当の配置

A　**寄附については、自由にできない。寄附は備品など購入に際しては有効だが、人件費も**

**また5年から10年の事業継続のためにはむずかしいのではないか？**

８　ＮＩＣＵを出てから、情報が少なかった。ブログなどを見ながら、探した。医師から「こういうところがる」情報があれば助かる。ここで成長させていただいた。

　　「お母さん、皆で頑張ろう」と言ってもらえる。母子通園の大切さがある。単独だと親も成長しない。

９　児童発達支援事業、児童発達支援事業（重心型）への変更は検討されたのか？

Ａ　**京都市との協議のなかで、その２つの事業形態に変更することも提案されたが、利用者さんの負担が増える事、各職種での職員数確保が困難なことから、変更しなかった。**

１０　ホームページが古い、改修してはどうか？

Ａ　**既にHPリニューアルを予定している。職員のなかで、その分野の知識をもっているものが、作成中です。**

１１　週1回は母子通園、週2回は単独通園、できなのですか？先生の負担になりますか？

　　　麦の穂学園からのお手伝いはできないのか？

Ａ　**職員が5名であれば、5名までしか対応できない。麦の穂学園からの職員補充は、採用難、人員基準の面から厳しい。**

１２　現在、通われている方、具体的にどうするか？

Ａ　**秋までなんとかしたい。また、大赤字になるが、1年延ばす事も検討しなければ、、**

１３　京都市に対して、ひばり学園の代わりとなる重心施設をどうするのか？聞いてみたい？

１４ひばり学園を京都市に戻すことはできるのか？

Ａ　**難しいと思います。**

１５新型コロナウイルス感染症について（感染者、濃厚接触者の取り扱いについて）

Ａ　**国の基準（濃厚接触者の取り扱い）は変更されると思いますが、いつになるかは、不明です。**